

新型コロナウイルス感染症 対策関連 第4弾！

『第4弾とこれまでの対策まとめ』

令和2年7月臨時会

議案第83号 令和2年度西条市一般会計補正予算(第5回) 歳出7款1項2目

令和2年8月5日
西条市議会議員

真鍋顕伸

事業内容

対策	新型コロナウイルス感染症対策 事業名	事業概要
第1弾 R2年5月1日	特別定額給付金	1人につき10万円 申請必要！8月18日まで
	子育て世帯臨時特別給付金	対象児童1人につき 1万円
	中小事業者への雇用調整助成金の上乗せ	県と市の連携
	融資資金(制度)の利子補給金の事業者支援	県と市の連携と市の独自
	感染症対策	感染症予防方法・各支援制度の周知など 3歳から中学生と妊婦へのマスクの配布
第2弾 R2年6月2日	頑張ろう！小規模事業者・農林水産事業者応援給付金	ひと月の売上が前年同月比20%以上減少などの要件満たした事業者へ10万円 申請必要！8月31日まで
	子育て世代応援給付金	対象児童1人につき 1万円
	緊急雇用対策事業	コロナの影響により内定取消しや解雇を受けた方を市の会計年度任用職員として雇用する
	園児・児童・生徒など感染予防対策	コロナ対策の衛生管理用品(マスク・非接触型体温計など)購入及び購入費補助
	救急活動感染予防対策	救急車に積載する搬送用アイソレータ装置など
	テレワーク・WEB会議システム導入	市役所業務に対するコロナ対策
第3弾 R2年6月24日	小中学校GIGAスクール整備	1人1台のタブレット端末 (R3年3月末予定)
	ひとり親世帯臨時特別交付金	1世帯5万円 第2子以降1人につき3万円 <small>一部申請必要</small> 家計急変世帯 1世帯当たり5万円 申請必要！
第4弾 R2年7月21日	キャッシュレス・ポイント還元事業	決済額の20%をポイント還元 上限5,000円
	地域商品券「石鎚藩札」発行支援	1セット2,500円を2,000円で販売
	災害対応備品等整備	避難所に必要なコロナ対策 (フェイスシールド・間仕切りテント・避難ベット)
	感染症対策	アルコール消毒液・薬用ハンドソープ購入

前回
説明
資料

前回
説明
資料

今回
説明
資料

※上記対策は、国・県と連携または、西条市独自で予算化された事業となります。
国・県によるコロナ対策事業については、国・県のホームページなどからの確認が必要です。

キャッシュレス・ポイント還元事業

対象店舗：西条市内キャッシュレス(スマホ決済)対応店舗

ポイント付与：決済額の20%をポイント還元 1ポイント1円

1回1000円まで、上限5000円

期間：令和2年9月1日～9月30日

ポイント事業費：1億円

地域商品券「いしづち藩札」発行支援事業

対象店舗 : 西条市内 登録店舗

販売価格 : 1セット2500円を2000円で販売

販売総数 : 13万セット

購入対象者 : 西条市民

購入限度 : 1人5セット(1万円)まで

使用方法 : 1セット2500円のうち1000円は飲食店限定

※コロナウィルスで特に被害が大きかった市内飲食店への措置

販売・使用期間 : 令和2年9月～令和3年1月末

事業費 : 1億円(補助金) ※別途、市内支援者の協賛金あり

事業主体 : 西条商工会議所・周桑商工会

この議案第83号について、7月21日 本会議にて
地域商品券「いしづち藩札」発行支援事業について
質疑を行いました。審議し、原案可決しました。

- ・ 事業者の参加基準について
- ・ 補助金と協賛金の活用内容と事業費内訳について
- ・ 商品券の販売方法について
- ・ 事業追加について

地域商品券「石鎚藩札」発行支援事業について

プレミアム25%（1セット2,500円を2,000円で販売）

過去、平成21年に「石鎚藩札」を実施し、目的や特典及び結果は、下記の通り

- ・ 目的は、リーマンショック後の緊急経済対策
- ・ プレミアム10%（1セット11,000円を10,000円で販売）
- ・ 換金率約81% 約1億7,800万円の時点で、郊外型の大型店をはじめとする地元資本以外の店舗における使用率が約56%
これに対して、地元の小売店等中小業者の使用率は約44%の約7800万円
- ・ 業種別では、小売業で88.2%、次いで飲食業が3.4%、サービス業が2.7%

事業者の参加基準について

Q1. 事業者の参加店舗の募集基準は？募集方法は？

地元資本事業者及び中小事業者の限定を強く望む！

- ・ 市内経済全体の底上げを目的としている
- ・ 市内全ての事業者が市内の経済と雇用を担うため、広く事業者を募集する
- ・ 商工会議所、商工会の会報やフリーペーパーなどで周知
- ・ 西条市ホームページやSNSを通じてPR

補助金と協賛金の活用内容と事業費内訳について

Q2. 西条市から1億円の補助金、市内支援者の協賛金の活用内容？

事業費の仕様内訳は？

石鎚藩札の発行枚数が1セットでも多くなることを望む！

- ・ 補助金1億円の内、6,500万円が商品券13万セット分のプレミアム費
- ・ 3,500万円は商品券の発行や販売などにかかる経費
- ・ 3,500万円の内訳、商品券印刷に約1,050万円
 - 商品券販売手数料に約1,020万円
 - 商品券換金の振込手数料に820万円
 - その他、広告費や事務費

補助金と協賛金の活用内容と事業費内訳について

Q3. 事務経費が大幅に増額となった理由は？

平成21年の事務経費は約506万円で今回の令和2年は7倍の3,500万円となる

- ・平成21年は、印刷枚数は2万セットに対して、今回は6.5倍の13万セット
- ・コロナ対策として、3密を避けた販売店舗を設置したことにより、必要でなかった販売手数料等が追加

商品券の販売方法について

Q4. 平成21年は、販売開始3日間で完売した。

前回の反省と今回の事業主旨を踏まえた販売方法は？

早いもの勝ちで高齢の方などへ行こ届かないことが想定される

- ・多くの方が購入できるように、購入限度を市民1人当たり5セット(1万円)まで
- ・平成21年は、販売場所を商工会議所、商工会限定であったが、コロナ対策と広く購入できるように、販売店舗で分散して販売する
- ・販売店舗の募集は地域性を考慮して選定
- ・13万セットを一気に販売ではなく、分散しながら一定期間販売⇒多くの方へ販売

事業追加について

Q5. このコロナ禍の影響による経済状況や、石鎚藩札による経済効果、市民の要望などがあれば、事業を追加する可能性はあるか？

- ・ 今回の地域商品券「石鎚藩札」とキャッシュレスポイントの実施で、市内経済は一程の回復ができると見込んでいる
- ・ しかし、今後の動向に予断を許さない状況にあり、市内の経済動向を注視しながら、市民や事業者に必要なとされる施策の検討に努める